

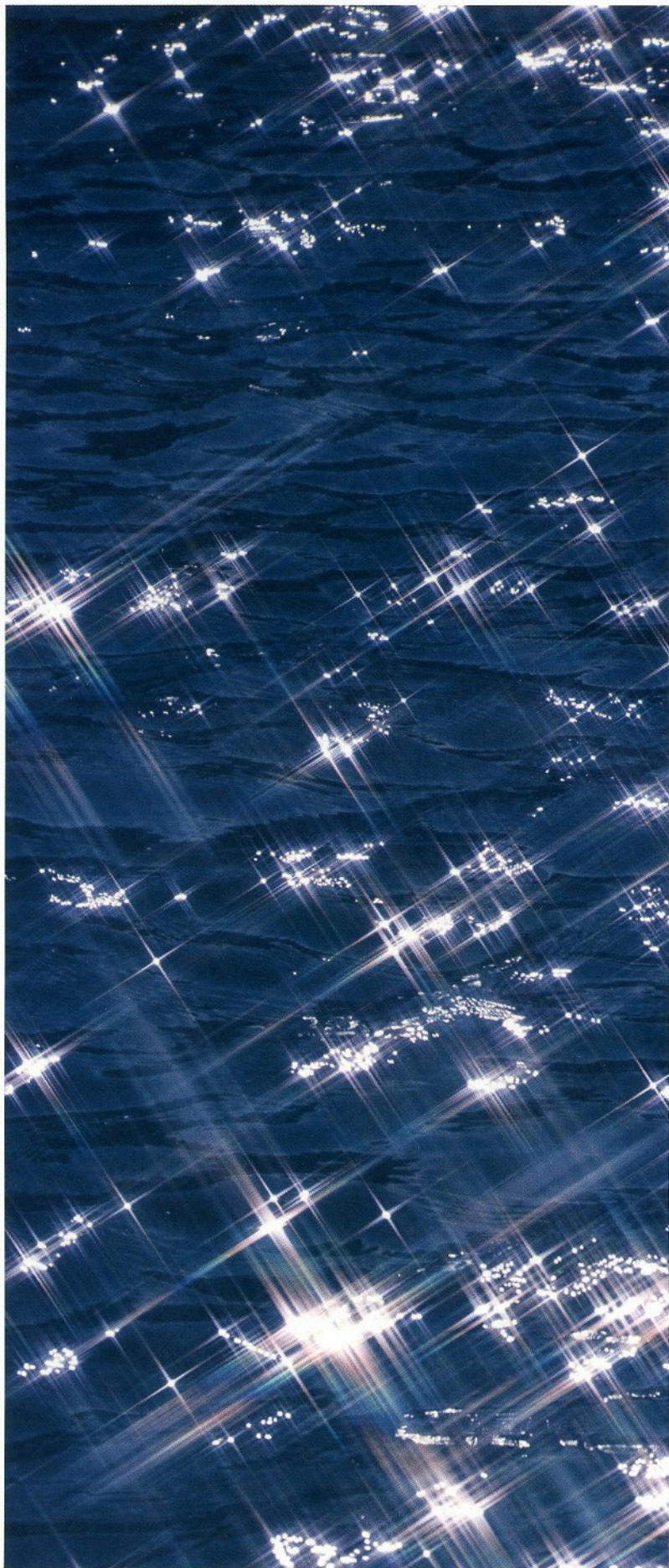
小林道憲

いのち

生命の哲学コレクシヨン

全十卷

ミネルヴァ書房



## 著者の言葉



わたしは、なにがなしの憂愁の気をたたえながらも命の芽吹きへの感受性を育ててくれる風土に生まれ育ち、人生のほとんどを過ごしてきました。しかし、そういう地にも、時代を追うに従って、現代の情報洪水は否応なく押し寄せてきました。わたしが現代文明論に関するいくつかの著作を発表していった背後には、そのような時代背景がありました。その後、この現代を乗り越えるしかたで思索していく中、見出した思想は〈大地と生命の永遠〉という思想でした。この思想を基軸にして、生命の本質から宇宙の真理にまで及ぶ世界観を、自然、倫理、歴史、芸術、宗教、存在、認識、文明、古代に及ぼし、わたしは自分なりの哲学を展開してきたのです。わたしの哲学への歩み、思想の来歴を一言で要約すれば、「現代文明の批判的考察を通して、それを包み越える方向で、生命論的世界観を構築してきた」ということに尽きるでしょう。これからも、こころある読者に語りかけていきたいと思っています。

## 略歴と著作

1944年 福井県生まれ。

1963年～1972年 京都大学文学部、同大学大学院文学研究科で哲学（西洋哲学史）を専攻。

1972年～2010年 福井大学教育学部（後・教育地域科学部）講師、助教授、教授、および、同大学大学院教育学研究科教授。

1999年～2011年 麗澤大学比較文明文化研究センター客員教授

主 著 〈哲学研究〉

『ヘーゲル「精神現象学」の考察』（理想社）、『生命と宇宙』『複雑系社会の倫理学』『歴史哲学への招待』（ミネルヴァ書房）、『宗教とはなにか』『宗教をどう生きるか』（NHK出版）、『複雑系の哲学』『続・複雑系の哲学』（麗澤大学出版会）、『生命（いのち）の哲学』（人文書館）、『芸術学事始め』（中央公論新社）

〈現代文明論〉

『欲望の体制』（南窓社）、『われわれにとって国家とは何か』（自由社）、『近代主義を超えて』（原書房）、『20世紀を読む』（泰流社）、『二十世紀とは何であったか』『不安な時代、そして文明の衰退』（NHK出版）

〈比較文明論・日本研究〉

『古代探求』（NHK出版）、『古代日本海文明交流圏』（世界思想社）、『文明の交流史観』（ミネルヴァ書房）

# 小林道憲

## いのち 〈生命の哲学〉コレクション

全十巻\* A5判上製カバー／各巻32～52頁(予定)  
各巻本体6500円(税別)／揃価格本体65000円(税別)

表①作品／溝録ひろし

### 6 現代とは

#### どのような時代なのか

——現代文明論の試み

【収録作品】

398頁 ISBN978-4-623-07731-1 2017年2月配本予定

#### 『欲望の体制』『現代国家論』

付論「新産業社会批判」「近代の超克?」「生命体としての国家」

「戦争はなぜなくなるらないか」「劣化する政党政治」

現代という時代を〈欲望の氾濫の時代〉とみて、そこでの自然、人間、歴史、大衆、国家などについて批判的に叙述する現代文明論。さらに、国家はどうあるべきか、現代国家のあり方を考察する国家論。

### 1 生きた自然を探求する

——躍動する生命と宇宙

352頁 ISBN978-4-623-07726-7 2016年9月配本予定

【収録作品】

#### 『生命と宇宙』

自然を〈生きた自然〉としてとらえ、躍動する生命と宇宙の扉を開く生命論的世界観の展開。〈機械〉から〈生命〉へ、新たな世界観を提示する自然哲学の試み。

### 7 世界史的観点から

#### 現代を考察する

——二十一世紀への道

【収録作品】

542頁 ISBN978-4-623-07732-8 2017年3月配本予定

#### 『ヨーロッパイズム』『二十世紀とは何であったか』『二十一世紀を読む』

付論「東アジア時代の検証」「多様性の中の共存」

「世界の政治的統合に向けて」

われわれの生きてきた〈現代〉を世界史的観点から考察し、二十世紀と二十一世紀の時代精神を様々な局面から凝視する現代文明論。

## 2 動く倫理学を展開する

——生成変化の中の実践

【収録作品】

374頁 ISBN978-4-623-07727-1 2016年9月配本予定

### 『複雑系社会の倫理学』

付論「無常の倫理」「日本のモラル・エナジー」「現代社会と道徳教育」

常に変動する社会での行為の意味と価値を考える（動く倫理学）の展開。生成変化する社会を（複雑系）の一つとしてとらえ、そこでの創造的行為に着目し、実践哲学のパラダイムを転換する。

## 8 文明とは何か

——文明の交流と環境

【収録作品】

370頁 ISBN978-4-623-07733-5 2017年4月配本予定

### 『文明の交流史観』

付論「生命体としての文明」「学際知としての比較文明学」

「文明と宗教を考える」「文明とヴァーチャル・リアリティ」

「環境学の新しいパラダイムのために」「環境創造について」

「文明三学」「トインビーと私」

人類の文明史を文明交流を中心に描き、世界史を関係性のもとで理解する（問）の文明論。文明と環境の相互作用論とともに、（文明とは何か）を明らかにする比較文明論。

## 3 生命パラダイムから

歴史と芸術を読む

——行為と表現の世界

【収録作品】

390頁 ISBN978-4-623-07728-1 2016年11月配本予定

### 『歴史哲学への招待』『芸術学事始め』

付論「進歩の歴史観について」「自然の造形と芸術の造形」

世界史と日本史の豊富な事例から（生きた歴史）の新たな見方を提示する歴史哲学。人はなぜ表現するのか、芸術の根源を探る芸術哲学。生命パラダイムから解く歴史論と芸術論。

## 9 古代日本人の生き方を探る

——古代日本研究

【収録作品】

424頁 ISBN978-4-623-07731-2 2017年5月配本予定

### 『古代探求』『古代日本海文明交流圏』

付論「稲作の伝播と日本神話の変容」「シラ信仰とクマ信仰」

古代人の心情そのものに帰り、『古事記』や『日本書紀』から古代文化の全体像を明らかにする日本古代文化史入門。（交流）をキーワードに、古代日本文明の形成過程を、日本海とユーラシア大陸の（文明ネットワーク）の中でとらえる文明史。

## 4 宗教とは何か

——根源的生命への帰一

472頁 ISBN978-4-623-07729-8 2016年12月配本予定

【収録作品】

『宗教とは何か』『続・宗教とは何か』

付論「輪廻転生の思想」「親鸞と現代」

原始宗教や古代宗教、仏教やキリスト教を素材に、宗教を「根源的生命」への帰一ととらえる宗教哲学入門。すべての宗教の底流に流れている原初的な宗教感情を取り出し、宗教の根源を探る。

## 5 複雑系を哲学する

——〈生成〉からとらえた〈存在〉と〈認識〉

452頁 ISBN978-4-623-07730-4 2017年1月配本予定

【収録作品】

『複雑系の哲学』『続・複雑系の哲学』  
『新・モナドロジー』『哲学入門』

付論「情報宇宙論覚書」

自己組織化理論やカオス理論に源泉をもつ〈複雑系の科学〉の哲学的基礎を与える試み。存在を関係に、関係を生成に還元し、〈生成〉から〈存在〉と〈認識〉をとらえる。生命論的世界観の基礎を与える複雑系存在論と複雑系認識論。さらに、哲学への見解や来歴を語る。

## 10 ヘーゲル哲学を研究する

——付・断片集、句歌集、評論

502頁 ISBN978-4-623-07735-9 2017年6月配本予定

【収録作品】

『ヘーゲル「精神現象学」の考察』

断片集『阿修羅の言葉』 句歌集『追憶』

評論

ヘーゲル研究に関する初期の論稿、さらに、断想や句歌、評論を集めた論集。

2016年9月より順次刊行

# 小林道憲

いのち  
〈生命の哲学〉コレクション

全10巻/A5判上製カバー/各巻352~542頁(予定)/各巻本体6,500円(税別)/揃価格本体65,000円(税別)

- ① 生きた自然を探求する  
——躍動する生命と宇宙——
- ② 動く倫理学を展開する  
——生成変化の中の実践——
- ③ 生命パラダイムから歴史と芸術を読む  
——行為と表現の世界——
- ④ 宗教とは何か  
——根源的生命への帰——
- ⑤ 複雑系を哲学する  
——〈生成〉からとらえた〈存在〉と〈認識〉——
- ⑥ 現代とはどのような時代なのか  
——現代文明論の試み——
- ⑦ 世界史的観点から現代を考察する  
——二十一世紀への道——
- ⑧ 文明とは何か  
——文明の交流と環境——
- ⑨ 古代日本人の生き方を探る  
——古代日本研究——
- ⑩ ヘーゲル哲学を研究する  
——付・断片集、句歌集、評論——



〒607-8494 京都市山科区日ノ岡堤谷町1番地 E-mail eigyo@minervashobo.co.jp 価格税別/宅配可(送料要)  
http://www.minervashobo.co.jp/ 営業部直通 TEL 075-581-0296 FAX 075-581-0589

取扱店